

片平流防災まちづくり 防災情報発信

Transmission of information
about disaster risk reduction

片平地区まちづくり会 柳谷 理紗
Katahira community development association
Risa Yanagiya

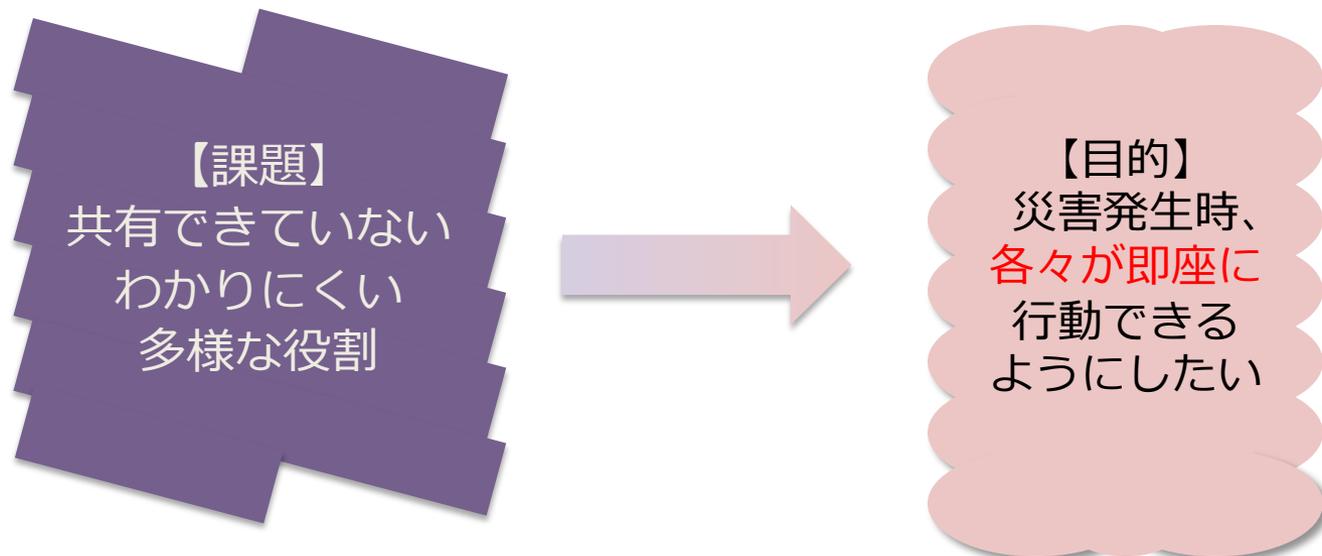
背景・目的

Background and purpose

①東日本大震災を受け、仙台市地域防災計画の見直し

- 個人、地域団体の役割の明確化
- 補助避難所や、地域で運営する避難施設（がんばる避難施設）、屋外の一時的避難場所（いっとき避難場所）の設定
- 自宅避難者への対応 など

②同じ地区内でも町内会ごとに異なる災害リスク



防災情報の発信

Transmission of information about disaster risk reduction

● Step1 情報整理・共有

防災行動マップ（日本語版）
[2016年3月完成]

● Step2 多言語化・運営者版・応用

英語版
[2017年3月完成]

運営者版
[2017年3月完成]

宝探しゲームで応用
[2017年3月、11月]

防災訓練で活用
[2018年度中実施予定]

● Step3 紙やHPなど複数媒体での発信

防災マンガの発行

ホームページ作成

● Step0 地域情報冊子の作成 「ウェルカム片平」



2013年3月

新たに片平地区に居住する
住民向けに防災、生活情報
と「平成風土記」掲載の情
報をコンパクトにまとめた
冊子を作成

→この中でマップ3種作成

- ① 防災マップ
- ② 病医院マップ
- ③ 生活便利マップ

●完成版（おもて面：行動フロー）

片平地区 防災行動マップ

いざという時のために普段からできること、
発災後の行動をフローチャートでまとめました。

指定避難所	片平小学校	☎022-223-3846
補助避難所	片平市民センター	☎022-227-5333
大町交番(花壇・大手町・大広会・畳屋下)		☎022-223-2744
東二番丁交番(大広会・柳町)		☎022-225-0235
五橋交番(北目町・米ヶ袋)		☎022-221-7019
五橋中学校		☎022-225-5476

世帯主氏名		緊急連絡先	
家族氏名①		緊急連絡先	
家族氏名②		緊急連絡先	
家族氏名③		緊急連絡先	
家族氏名④		緊急連絡先	

平常時

食料備蓄の習慣化



普段の食料を多めに買い、常に食料を備蓄する。

落下物注意



ブロック塀や瓦屋根の落下・倒壊を確認する。

自宅避難場所の確保



落下物・背の高い家具がない場所を設ける。

避難経路の確認



避難場所までの経路を想定しておく。

連絡方法の共有



非常時の連絡方法、避難場所を共有する。

非常用品の準備



非常用品を持ち出しやすい場所に保管する。

地震



情報入手

気象庁

- ・テレビ
- ・ホームページ

仙台市

- ・テレビ
- ・ラジオ
- ・広報車
- ・緊急速報メール
- ・社の都防災Web
- ・社の都防災メール
- ・危機管理室Twitter



風水害



発災時

安全確保

出口確保

ドアや玄関など出口を確保し、戸外に飛び出さない。

ケガを防ぐ

ガラスなどの破片対策として、靴やスリッパを履く。

出火を防ぐ

電気スイッチ、ブレーカー、ガス元栓を閉める。

状況を周知する

安全を確保できたら、玄関先に目印を、合図のため掲げる。

安全確保

非常用品の確認
(避難準備/避難勧告)

避難指示に備え、持ち物を準備する。

一時避難

いっとき避難場所



避難者サポートなど、町内会の指示に従い行動する。

自宅待機



自宅で待機し、近所の方の安否を確認する。

避難

指定避難所



がんばる避難施設



※常備薬を持参
長期の避難生活に備え、町内会の指示に従い行動する。

避難

●完成版（うら面：地図、ハザードマップなどの紹介）

片平地区 防災行動マップ

「ちいき地図」

避難所など、いざという時のために
日常的に意識しておきたい場所を紹介します。

災害が起こったら…

災害の種類	避難場所・行動	指定避難所開設基準
地震	自宅 ▶ ▶ または	震度6弱以上
風水害	自宅 ▶ または	避難勧告 避難指示

- ・風水害時は、片平市民センターは避難所として開設しません。
- ・避難所は駐車場が限られるため徒歩での避難をお願いします。



地図の見方

平成28年3月時点の
情報です

- いつとき避難場所
- 指定避難所
- がんばる避難施設
- その他



防災直後の安否確認や
一次避難のための場所



市が指定する避難所



町内会や集合住宅で自主運営する場所（町内会や集合住宅ごとに判断し開設します）

- 補助避難所（避難所を補完する施設）
- 集会所
- AED
- 公衆電話
- WC 公衆便所
- ガソリンスタンド
- コンビニエンスストア

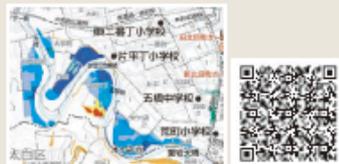
は、基本的に集合住宅住民の対象



ハザードマップなど

広瀬川に近い片平地区は、水辺や河岸
段丘の変化に富む自然環境を楽しめる
一方、水害や土砂災害への備えが必要
です。ここでは災害リスクを知るため
の資料や記録を紹介します。
(詳しくは、下記のQRコードからホーム
ページをご確認ください)

水害・土砂災害ハザードマップ



水害や土砂災害の危険性のある区域を示したもの

宮城県HP「みやぎ水害記録集」



昭和25年8月洪水時、濁流に流された評定河原橋
※濁流は危険ですので、川に近づかないようにしましょう

2015年9月大雨時の定点観測記録



東日本大震災の記録



五ツ橋通、ガソリンスタンドに徹夜で並ぶ車列
(写真提供/斎藤雅之さん/2011年3月23日撮影)
リンク先「3つづ1」に写真や思い出の思い出センター/さんだいい
アーク」内に市員が撮影した写真やコメントが掲載されています

防災行動マップ（日本語版）

Disaster Prevention Map (Japanese)

＜当初想定からの大きな変更点＞

①防災行動マップを2種類作成する

- 避難行動を、簡潔にわかりやすく伝えるための「**全戸配布版**」
- 各町内会などの動きも記載した「**運営者版**」

②地震と風水害で行動フローを分ける



平時の広瀬川大橋下流



国際センター（現在地）

大橋

2015年9月の大雨時

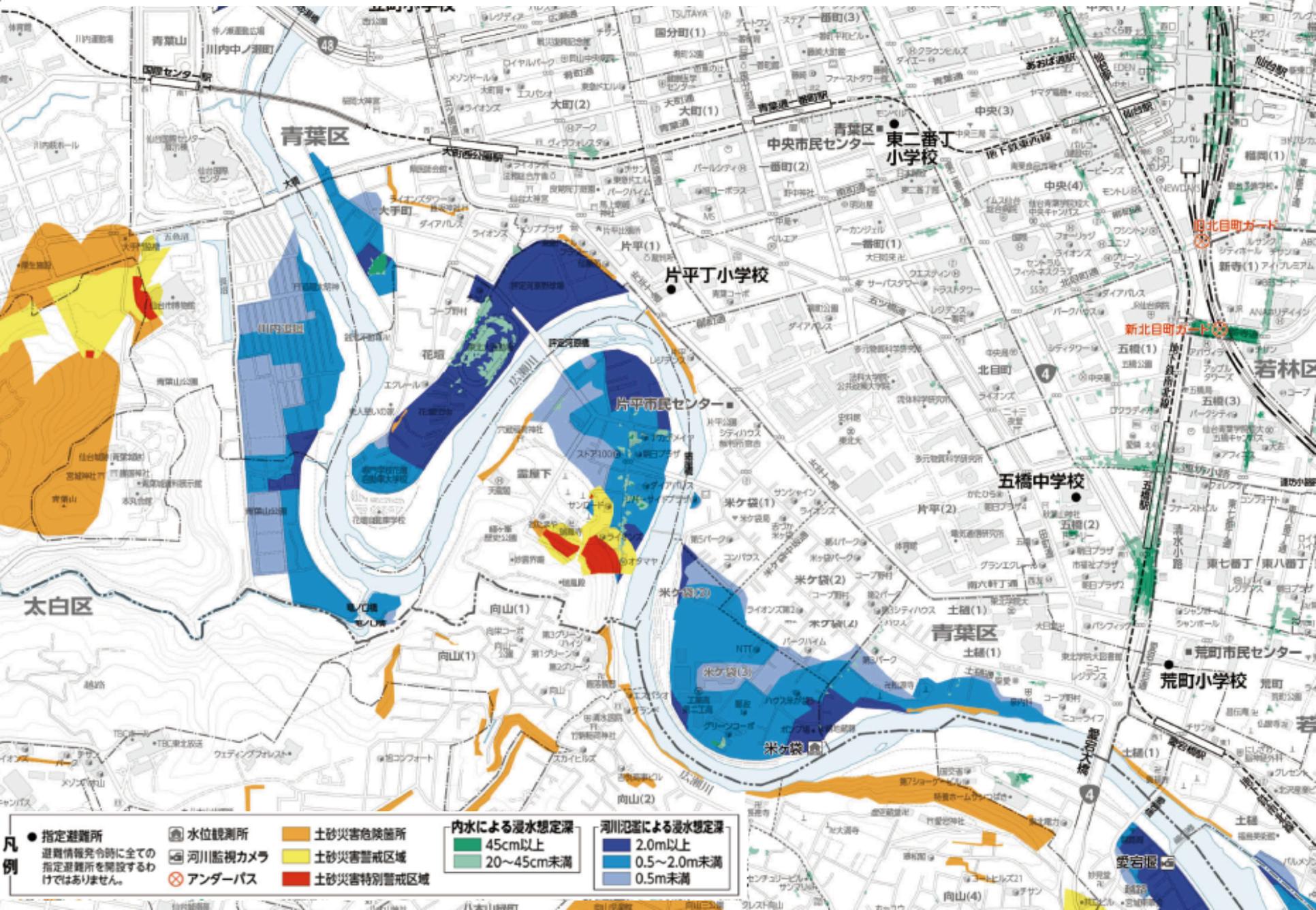
→片平丁小（指定避難所）に109名の避難者

●片平地区の立地特性（河岸段丘による地区内の高低差＝風水害リスクの差）



●ハザードマップ

せんだい水害・土砂災害ハザードマップ【青葉区版】（平成28年3月仙台市作成）より転載



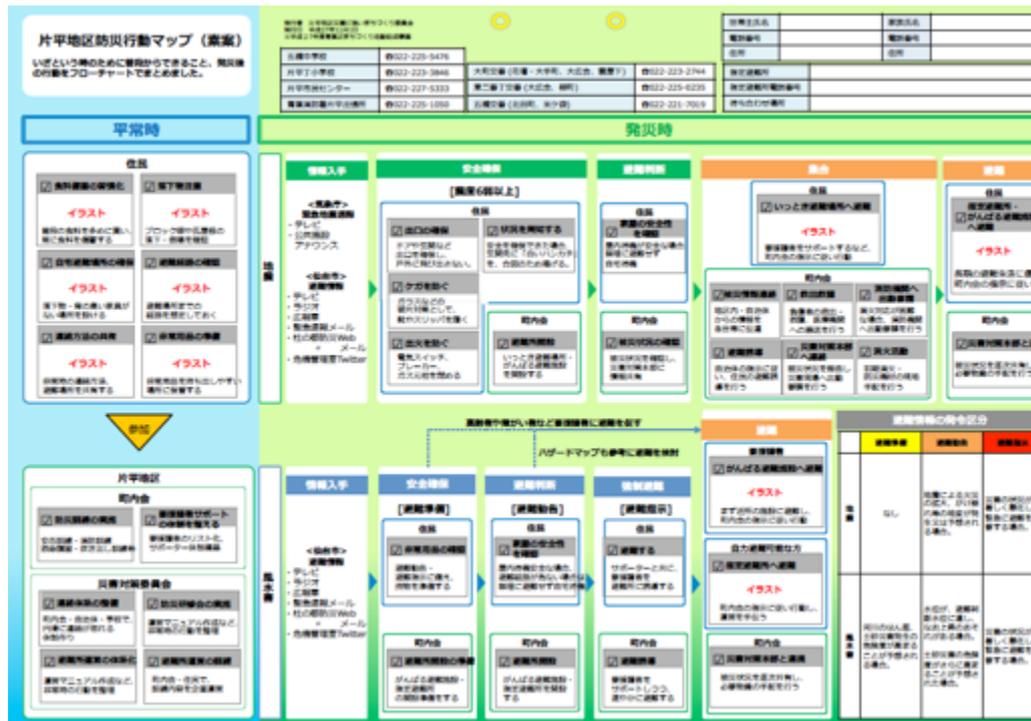
凡例

- 指定避難所
 - Ⓜ 水位観測所
 - 📹 河川監視カメラ
 - ⓧ アンダーパス
 - 🚧 土砂災害危険箇所
 - 🚫 土砂災害警戒区域
 - 🔴 土砂災害特別警戒区域
- | 内水による浸水想定深 | 河川氾濫による浸水想定深 |
|------------|--------------|
| 45cm以上 | 2.0m以上 |
| 20~45cm未満 | 0.5~2.0m未満 |
| 20~45cm未満 | 0.5m未満 |

防災行動マップ^o（日本語版）

Disaster Prevention Map (Japanese)

<2015年11月 防災訓練参加者にアンケート実施>



- ◎ フローチャートで表示、住民・役員と動きを併記
- ◎ 9月の大雨を受けて **地震時**と**風水害時**の動きを書き分け

⇒アンケートで「わかりにくい」という声、また、そもそも文字が細くなり見てもらえない状況

⇒**全戸配布版**と**運営者版**を分けることとした

●完成版（おもて面：行動フロー）

片平地区 防災行動マップ

いざという時のために普段からできること、
発災後の行動をフローチャートでまとめました。

指定避難所	片平丁小学校	☎022-223-3846
補助避難所	片平市民センター	☎022-227-5333
避難所	（花壇・大手町、大広会、豊屋下）	☎022-223-2744
避難所	（大広会、柳町）	☎022-225-0235
避難所	（米ヶ袋）	☎022-221-7019
避難所		☎022-225-5476

世帯主氏名		緊急連絡先	
家族氏名①		緊急連絡先	
家族氏名②		緊急連絡先	
家族氏名③		緊急連絡先	
家族氏名④		緊急連絡先	

地震と風水害を
分割

イラストを多用

平常時

食料備蓄の習慣化



普段の食料を多めに買い、常に食料を備蓄する。

落下物注意



ブロック塀や瓦屋根の落下・倒壊を確認する。

自宅避難場所の確保



落下物・背の高い家具がない場所を設ける。

避難経路の確認



避難場所までの経路を想定しておく。

連絡方法の共有



非常時の連絡方法、避難場所を共有する。

非常用品の準備



非常用品を持ち出しやすい場所に保管する。

地震



情報入手

気象庁

- ・テレビ
- ・ホームページ

仙台市

- ・テレビ
- ・ラジオ
- ・広報車
- ・緊急速報メール
- ・社の都防災Web
- ・社の都防災メール
- ・危機管理室Twitter

発災時

安全確保

出口確保

ドアや玄関など出口を確保し、戸外に飛び出さない。

ケガを防ぐ

ガラスなどの破片対策として、靴やスリッパを履く。

出火を防ぐ

電気スイッチ、ブレーカー、ガス元栓を閉める。

状況を知覚する

風水害時には
いっとき避難場所
には集まらない

風水害



安全確保

非常用品の確認
〈避難準備/避難勧告〉

避難指示に備え、持ち物を準備する。

一時避難

いっとき避難場所



避難者サポートなど、町内会の指示に従い行動する。

自宅待機



自宅で待機し、近所の方の安否を確認する。

避難

指定避難所



がんばる避難施設



※常備菜を持参
長期の避難生活に備え、町内会の指示に従い行動する。

避難

●完成版（うら面：地図、ハザードマップなどの紹介）

片平地区 防災行動マップ 「ちいき地図」

避難所など、いざという時のために
日常的に意識しておきたい場所を紹介します。

災害が起こったら…

災害の種類	避難場所・行動	指定避難所開設基準
地震	自宅 ▶ ▶ または	震度6弱以上
風水害	自宅 ▶ または	避難勧告 避難指示

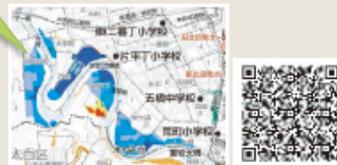
- ・風水害時は、片平市民センターは避難所として開設しません。
- ・避難所は駐車場が限られるため徒歩での避難をお願いします。

過去の災害事例も 紹介

ハザードマップなど

広瀬川に近い片平地区は、水辺や河岸段丘の変化に富む自然環境を楽しめる一方、水害や土砂災害への備えが必要です。ここでは災害リスクを知るための資料や記録を紹介します。
(詳しくは、下記のQRコードからホームページをご確認ください)

水害・土砂災害ハザードマップ



水害や土砂災害の危険性のある区域を示したもの

宮城県HP「みやぎ水害記録集」



昭和25年8月洪水時、濁流に流された評定河原橋
※海水域は危険ですので、川に近づかないようにしましょう

2015年9月大雨時の定点観測記録



東日本大震災の記録



五ッ橋通、ガソリンスタンドに徹夜で並ぶ車両
(写真提供/斎藤雅之さん/2011年3月23日撮影)
リンク先「3つづ1」に写真や思い出の思い出センター/さんだいいアーク」内に市員が撮影した写真やコメントが掲載されています



地図の見方

平成28年3月時点の
情報です

- いっとき避難場所
- 指定避難所
- がんばる避難施設
- その他

- 補助避難所（避難所を補完する施設）
- 集合所
- 公衆電話
- WC公衆便所
- AED
- ガソリンスタンド
- コンビニエンスストア

防災直後の安否確認や
一次避難のための場所

市が指定する避難所

町内会や集合住宅で自主運営する場所（町内会や集合住宅ごとに判断し開設します）

は、基本的に指定避難所住宅の対面



防災行動マップ（日本語版）

Disaster Prevention Map (Japanese)

＜マップ作成時の工夫（東日本大震災を受けて）＞

① 避難場所・施設の違いをわかるように

片平丁小学校（指定避難所）

- ・ 発災直後から避難できる施設として一般に周知
- ・ 地域団体・避難者・市・小学校が協働して運営
- ・ 市が食料や物資を備蓄
- ・ 市からの支援物資などは直接配送

片平市民センター（補助避難所）

- ・ 指定避難所を補完する施設
- ・ 指定避難所と連携し、地域団体中心に運営
- ・ 市が食料や物資を備蓄
- ・ 市からの支援物資などは指定避難所を介して配送

地区避難施設（かんばん避難施設）

- ・ 地域で自主運営、自ら備蓄などの準備を行う

※公的支援は、指定避難所への物資供給が可能となつてからは、指定避難所において支援物資を受取り



地区内の屋外避難場所（いつとき避難場所）

- ・ 発災直後の安否確認や一次避難のための場所



②あくまでも指定避難所は最終手段。家屋流出や倒壊の危険性などが無い限りは、**できる限り自宅で過ごすように。**

防災情報の発信

Transmission of information about disaster risk reduction

● Step1 情報整理・共有

防災行動マップ（日本語版）
[2016年3月完成]

● Step2 多言語化・運営者版・応用

英語版
[2017年3月完成]

運営者版
[2017年3月完成]

宝探しゲームで応用
[2017年3月、11月]

防災訓練で活用
[2018年度中実施予定]

● Step3 紙やHPなど複数媒体での発信

防災マンガの発行

ホームページ作成

● Step0 地域情報冊子の作成 「ウェルカム片平」



2013年3月

新たに片平地区に居住する
住民向けに防災、生活情報
と「平成風土記」掲載の情
報をコンパクトにまとめた
冊子を作成

→この中でマップ3種作成

- ① 防災マップ
- ② 病医院マップ
- ③ 生活便利マップ

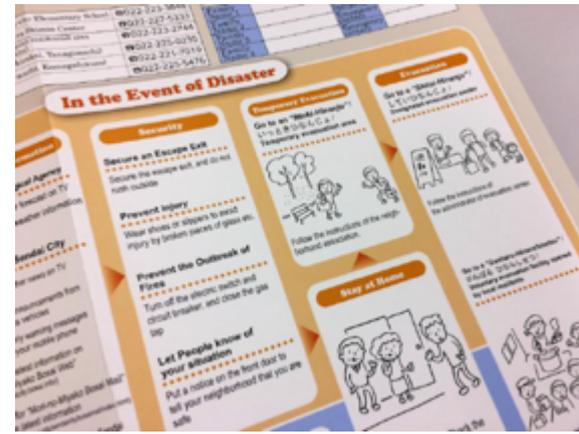
防災行動マップ英語版

Disaster Prevention Map for Foreign Residents

- 日本語版作成の過程で、片平地区に住む留学生に意見伺い
- 仙台国際観光協会の協力で英訳
- 留学生が学ぶ学校や施設関係機関を通じて外国人住民に配布



片平地区内に住むマレーシア留学生の元に訪問した際の様子



- 日本人にとっては常識的な防災の知識も、外国人住民にはわからないことが多い。食料や防災用品の備蓄、「避難所」について説明。

防災行動マップの活用・応用

Use of Disaster Prevention Map



- 宝探しゲーム用に、内容を再アレンジし地図を製作
- ゲームの中で、各種避難所の場所などを確認する為に使用

防災情報の発信

Transmission of information about disaster risk reduction

●Step1 情報整理・共有

防災行動マップ（日本語版）
[2016年3月完成]

●Step2 多言語化・運営者版・応用

英語版
[2017年3月完成]

運営者版
[2017年3月完成]

宝探しゲームで応用
[2017年3月、11月]

防災訓練で活用
[2018年度中実施予定]

●Step3 紙やHPなど複数媒体での発信

防災マンガの発行

ホームページ作成

●Step0

地域情報冊子の作成 「ウェルカム片平」



2013年3月

新たに片平地区に居住する住民向けに防災、生活情報と「平成風土記」掲載の情報をコンパクトにまとめた冊子を作成

→この中でマップ3種作成

- ① 防災マップ
- ② 病医院マップ
- ③ 生活便利マップ

防災行動マップ[®]運営者版

Disaster Prevention Map for Community Disaster Preparedness Leader

- 町内会役員、民生委員、SBLなど、避難所や地域運営に当たる立場の者が災害時に動けるよう情報を集約

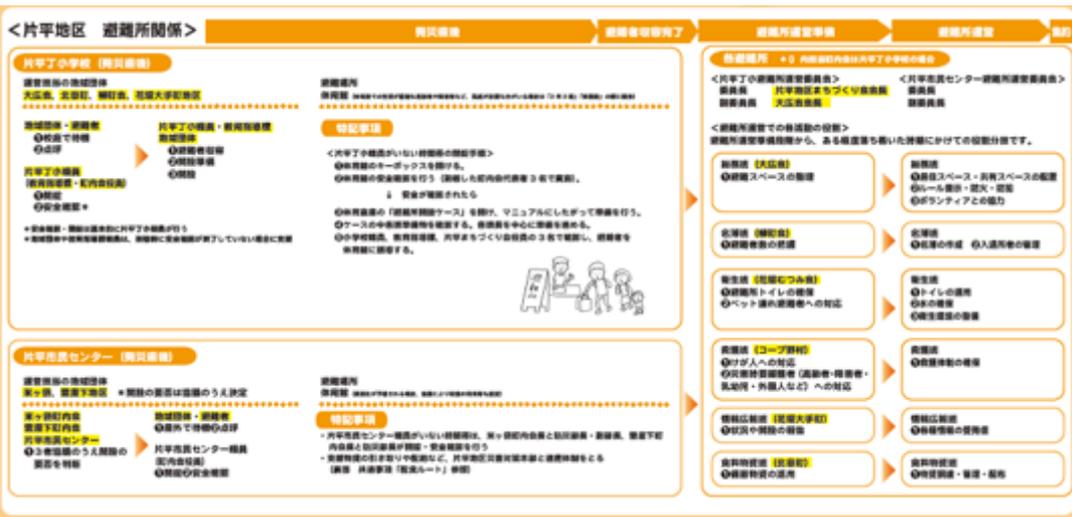
【おもて面】地震時の動き

【うら面】風水害時の動き、共通事項

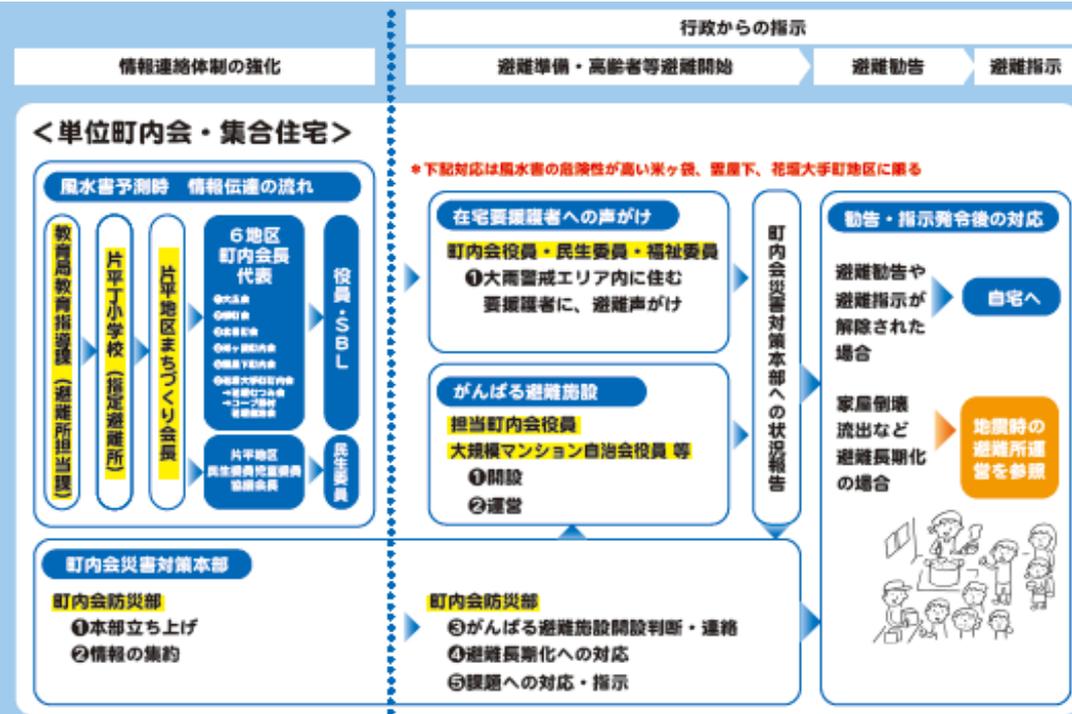


- A2サイズ 16折り
- 「単位町内会」「片平地区内」の動きに分けて記載

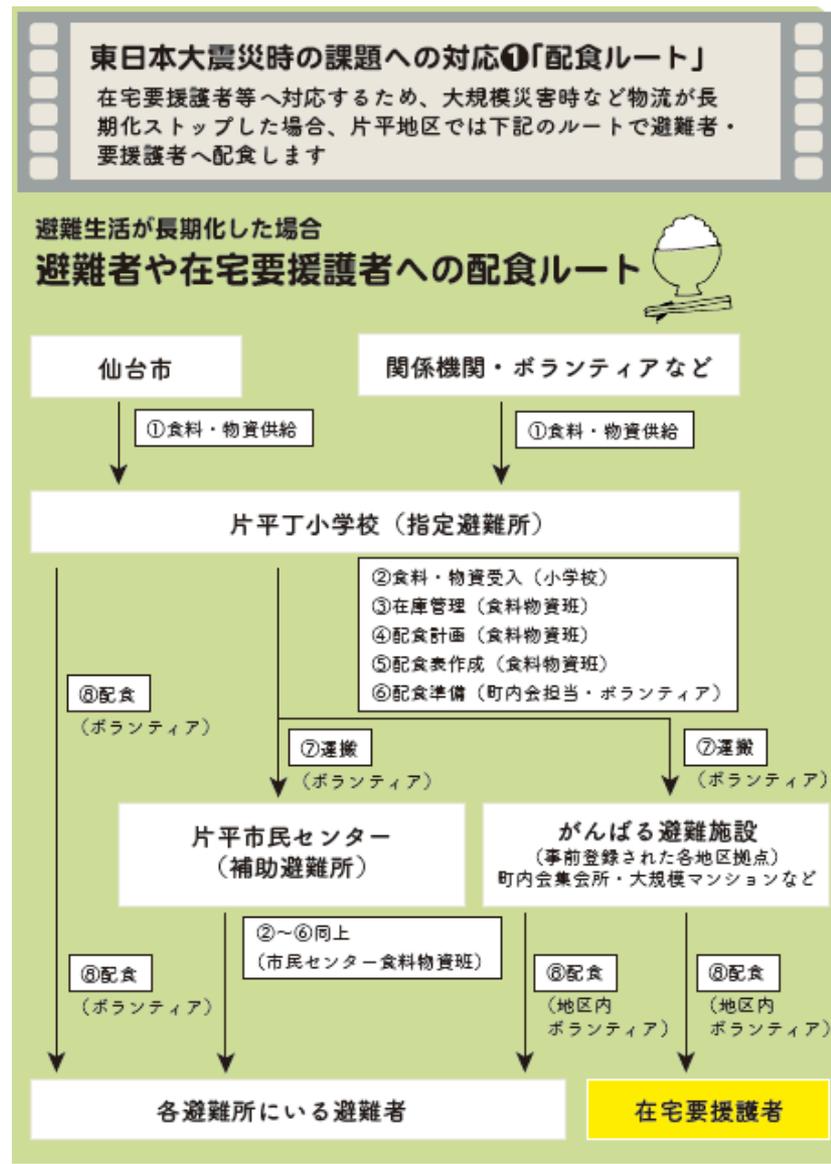
● 運営者版掲載内容 (抜粋)



▲片平地区：避難所開設～運営～集約までの流れ



▲単位町内会：大雨時の動き



▲指定避難所から在宅要援護者への配食ルート

防災情報の発信

Transmission of information about disaster risk reduction

●Step1 情報整理・共有

防災行動マップ（日本語版）
[2016年3月完成]

●Step2 多言語化・運営者版・応用

英語版
[2017年3月完成]

運営者版
[2017年3月完成]

宝探しゲームで応用
[2017年3月、11月]

防災訓練で活用
[2018年度中実施予定]

●Step3 紙やHPなど複数媒体での発信

防災マンガの発行

ホームページ作成

【発信の対象】

紙媒体（マンガ） → 高齢者

ホームページ → 若者

防災マンガ

Introducing Disaster Prevention with Comics

- 掲載テーマの確定や、漫画の製作協力者について防災プレ会議で議論。
- 第1号は「宝探しゲーム」をテーマに、美術系大学生を交え製作



インターネット広報

Public relations on the internet

＜片平地区まちづくり会のホームページを作成＞

- ・ 仙台市が提供する防災情報、各町内会や学校イベント等の地域情報を集約して発信

【目的】

- ① 片平地区の住民が災害時に素早く必要な防災情報にアクセスできるようにする
- ② 地域のイベント情報なども集約して掲載し、**日常生活**のなかで自然と防災の情報を入手しやすくする

→TOPページに仙台市からの災害情報や
地区内の災害情報を表示

→これまで作成した地域資料もPDFで掲載



成果と課題

The Achievements and Issues

● 成果

- ・ 発信ツールの「防災行動マップ」作成過程自体が、運営者側の内容理解・共有につながった
- ・ 作って終わりではなく、成果物が別の形となり、活用されたことが内容普及につながった。
- ・ 防災情報の共有を通じ、多様な主体とのコミュニケーションを図ることができた（留学生、復興公営住宅住民、子どもまちづくり隊など）

● 課題

- ・ 日々内容の見直しがあるため、内容更新が必要（資金やマンパワーが必要。）
- ・ 一般住民に向けた普及活動